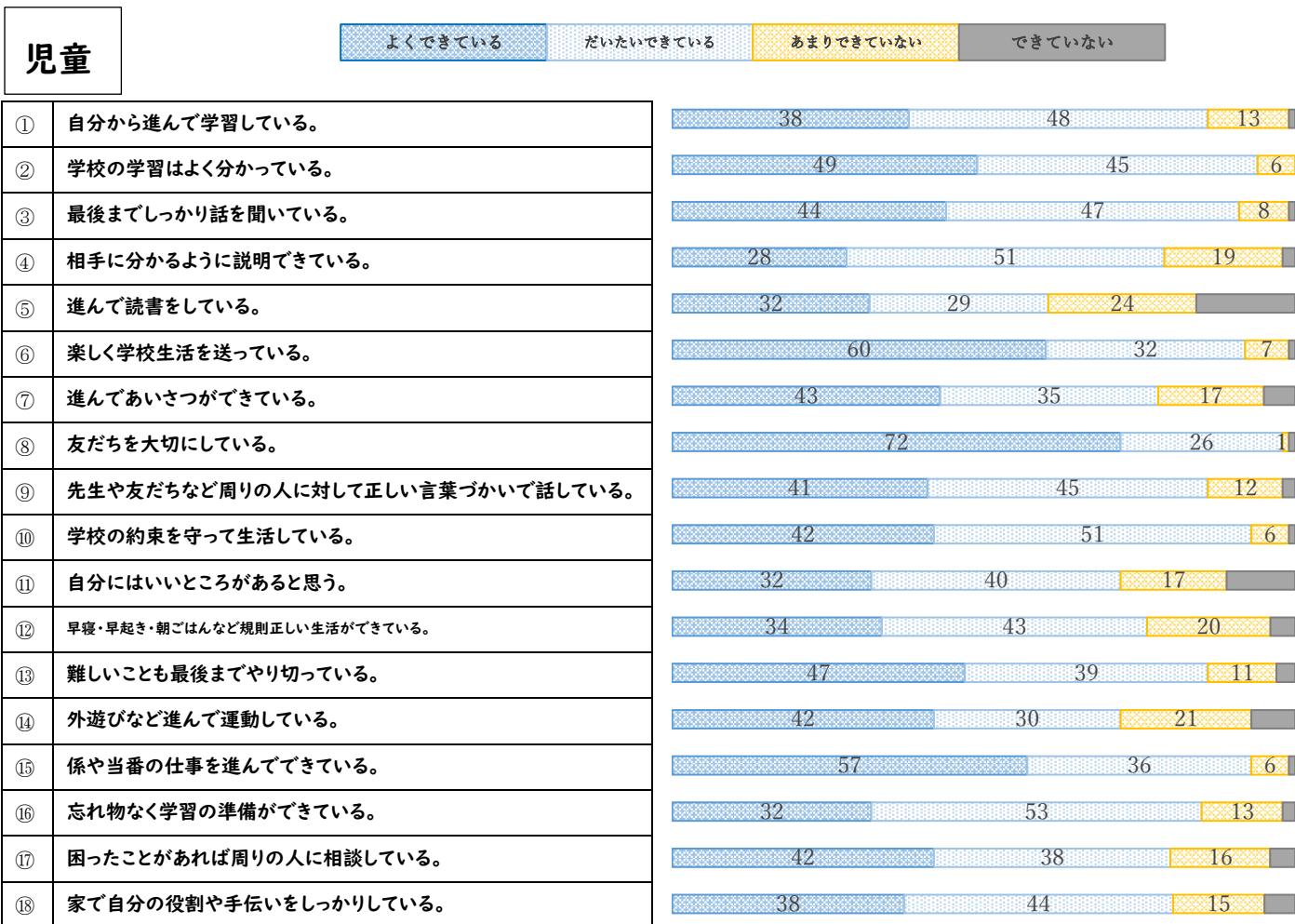


第2回学校づくりアンケートへのご協力、ありがとうございました。結果をお知らせします。先日の学校だよりも記載したのですが、子育てや教育をする上で「子どもの自立」はたいへん大切なことです。教職員もそのような視点で今回の結果を受け止めていきたいと思います。保護者の皆様にもぜひ、「子どもの自立」を意識しながら結果を見ていただけすると幸いです。そして今後も共に子どもたちの成長に関わっていきたいと思います。



児童⑯忘れ物なく学習の準備ができている。

肯定的な回答は前期と同程度の85%だったものの、「よくできている」の回答は前期に比べ7%減少していました。自信をもって「できている」と回答できないと感じている子が増えたようです。自分に必要な物の準備をすることは、自立した人となっていく上でももちろん重要なことです。小学校では、宿題のプリントやノート、体育服、給食袋、タブレット端末などを忘れてしまうことがあるのではないか。物の準備ができていない状態のとき、活動への前向きな気持ちがもちにくくなるときもあります。大人もそういうことがあるものです。気持ちよく前向きに活動するためにも学習の準備について今一度見直していきたいものです。

保護者⑮お子さんが、忘れ物なく、学習の準備ができるように声をかけている。

保護者の方の回答を見てみると、肯定的な回答が86%と前期に比べて6%減少しています。保護者の皆さんもお忙しい中、意識して声をかけていただいている新学期に比べて、少しずつ声かけが少なくなっているのかもしれません。声をかける回数が多ければいいというわけではなく、お子さんの様子に応じて関わり方を変化させていくことも大切なのではないかと思います。また、自分の力で忘れ物なく準備できるように、

- ・持ち物リストを作っている
- ・いつやるか決めている
- ・場所を整えている

などの工夫をされているご家庭もきっとあるのではないでしょうか。

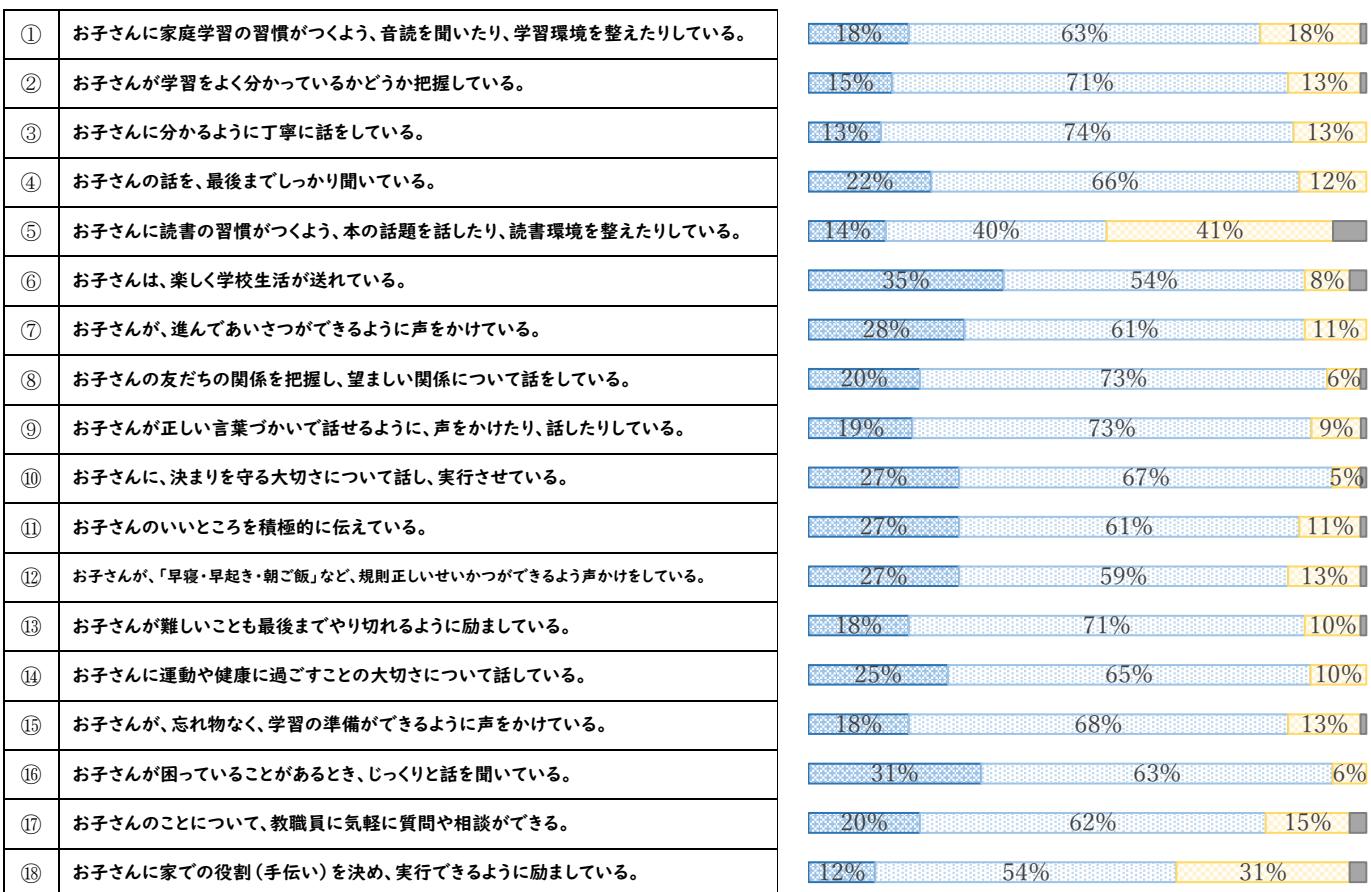
⑦進んで読書をしている。

前期同様、児童・保護者アンケート共に肯定的な回答が他の項目に比べて少なかったのが、読書に関わる項目です。「大人もゆっくりと読書に親しむ時間がない…」そんなふうに感じている方も多いのではないでしょうか。

豊かな心を育んだり、想像力を働かせたりする読書を子ども達にもぜひたくさん味わってほしいものです。教職員からも、「学級文庫を充実させたい」、「学校図書館を活用する時間を増やしたい」、「子どもが読みたい本を充実させたい」といった声が上がっています。

保護者

よくできている だいたいできている あまりできていない できていない



保護者⑯お子さんに家での役割（手伝い）を決め、実行できるように励ましている。

肯定的な回答が66%でした。これは前期に比べ6%ほど上昇しています。ご家庭で、お子さんの役割を位置付けて継続的に励ましていくことは、自立心を育てるためにたいへん大切なことだと思います。家庭でのそのような関わりが増えてきていることに心強く感じます。また、お子さんがしっかりと実行できたとき、続けてできたときなどに「しっかりとできるようになったね」、「ありがとう助かっているよ」などのお声かけをすることで、お子さんが「やった甲斐があった」という思いをもち、自己肯定感を感じることにつながるのではないかと思います。

学校でも、様々な活動の中で子ども達に役割を任せ、その役割を果たそうとする過程を積極的に励まし、認めて、感謝の言葉をかけていきたいと思います。

児童⑪「自分にはいいところがあると思う」

肯定的な回答をしたのは、前期と同程度の70%です。ご家庭でも、学校でも役割や手伝いについて上記のような認められるやりとりを子ども達と積み重ねることによって、肯定的な回答が増えていくことにつながってほしいと期待します。